

2026 年度 武蔵大学 国際教養学部 経済経営学専攻
総合型選抜入学試験
帰国生徒対象入学試験

試験日：2025 年 10 月 12 日（日）
試験時間：9 時 20 分～11 時 00 分（100 分）

【英語】

武蔵大学国際教養学部経済経営専攻の学生は、University of London の科目群の履修が必要となっています。それらの科目では、英語によって講義され、英語によって解答を作成しなければなりません。したがって、英語による授業を理解し、批判的に解釈し、自らの言葉で適切に表現することが求められます。これを踏まえ、読解能力（ある程度の長さがあり、時事問題に関する文章を、的確に読みこなすことができるか）並びに作文能力（与えられた題材に対して、自分自身の意見を論理的・説得的にまとめることができるか）を問いています。

【数学基礎】

国際教養学部経済経営学専攻の学びの柱であるパラレル・ディグリー・プログラム（PDP）は、武蔵大学の学位とともにロンドン大学の学士号（BSc Economics、BSc Economics and Management、BSc Data Science and Business Analytics）の取得を目指すプログラムですが、PDP 履修には一定の数学の素養が必要となります。そこで、総合型選抜入学試験および帰国生徒対象入学試験においても、経済学、経営学、ビジネスデータサイエンスを学ぶ上で必須の分野に絞り、各分野の基本的事項に関する理解度を確認することを意図した数学の問題を出題しています。

問題は、数学 I の「数と式」、「二次関数」および「データの分析」、数学 II の「指数関数・対数関数」および「微分・積分の考え」、数学 A の「場合の数と確率」、数学 B の「数列」および「確率分布と統計的な推測」を中心に出题されました。いずれも教科書の例題や練習問題にあるような基礎的な問題で、出題各分野に関する基礎知識と計算力が身につけていることを確認することに主眼を置いた出題となっています。